

取付説明書

the installation of an HID conversion kit.

ご注意

この度は、CATZ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。正しく、安全にお使いいただくため、ご使用前には「本取扱説明書」をよくお読みください。また、本製品をご使用いただく際、必ず手元に置いてご活用ください。

! 本製品の取付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

*HIDシステムを取付け後、ヘッドライトのレンズ、リフレクターに墨り、蒸着の剥れが起こる場合があります。
この症状は、同年式、同型式の車両であっても症状の発生が起こる場合、起らない場合があります。
また、これらの症状はヘッドライトの経年劣化により起こる現象でもあるため、ヘッドライトの保証は対象外になります。
あらかじめご了承ください。

装着前に、必ずご確認ください。

1) 本製品はエンジン始動時にオートライトモード(オートライトスイッチON)になっていると、HIDが点灯しない場合があります。
これは始動時の車両側電力供給の低下などの要因が関係します。点灯になった場合、一旦、スイッチをOFFにして再度ONになるとHIDは点灯します。*エンジンを止める際にオートライトモードを解除しておく事をお勧めします。

製品仕様

HIDバルブ

- タイプ : HB4、H11
- 定格入力電圧 : DC 12 V
- 消費電力 : 35W

バラスト

- 定格入力電圧 : DC 12 V
- 定格出力電圧 : 85W、35W

△ ご注意

*当該商品のHB4タイプは、HB4J(9006J)タイプの車両への装着できませんので、ご注意ください。

参考対象車種：トヨタスープラ(JZA80)、トヨタアリスト(JZS147)など

ワタシノクルマを何とかしたい 発売元
FET エフ イー ティー

アサヒライズ株式会社 エフィーティー事業部
〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004
CATZ HOT LINE TEL.027-266-7435

△ 安全に関するご注意

警 告

! ガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。
破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。

! 紙や布などでおまつり、燃えやすいものに近づけないでください。
火災の原因となります。

注 意

! このHIDシステムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。
バラストは、始動時に高電圧を発生する為、ノイズが発生する場合があり、バラストの位置や車両によっては、ノイズが車両(コンピュータ、オーディオ等)に影響がある場合があります。

! ライト点灯中や消灯直後は、手や肌などで触れたり洗車などは、おこなわないでください。

点灯中や消灯直後はライトのレンズやボディーが熱いのでヤケドの原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後の洗車は温度差によるレンズ割れの原因となることがあります。
※洗車やライト付近の作業をおこなう場合は、充分にさました後、作業をおこなってください。

! 点灯中の光(電球)を間近で長時間見つめないでください。

目が痛くなったり、視力障害の原因となります。

! 感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。
HIDバルブをバラストへ接続しない状態で、フォグスイッチをオンにするとバラスト側のHIDバルブ接続端子部に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。
また、この状態でフォグスイッチをオフにしても高電圧が残留し、感電する恐れがあります。

! ライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。

このシステムは、通常のハロゲンバルブよりも明るさが増すため、光軸が合っていないから、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。

*本製品は電流・電圧センサー機能が搭載されている盗難警報装置と同時装着を行うと盗難警報装置が誤動作を起こす場合があります。

△ 使用に関するご注意

○停車中(信号待ちなど)の点灯／消灯は頻繁におこなわないでください。

点灯／消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が消耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起こす原因となります。
注) フォグスイッチの点灯／消灯を短時間繰り返すと点灯しなくなる場合があります。

これは、バラストの安全装置が作動して起こるもので故障ではありません。

この症状が出た場合、数秒の間隔(10秒以上)を置いてから再点灯をおこなってください。

○下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。

この症状はバラストの昇圧差や固体差によって発生する症状で、クレームの対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。

1) 点灯直後や再点灯時に(約40~60秒間)赤味を帯びた色や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。

2) 左右のライトが同時に点灯しないことがあります。

3) 点灯時、左右の照射色が異なることがあります。これは商品の固体差により発生するものでクレーム対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。

○一部の車両において、球切れモニターが点灯する場合があります。

この症状は、車両側ライトの電気制御系統とH.I.D.システムの相性により発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○改造、分解は絶対におこなわないでください。

この商品は、精密な電子回路の集合体です。システムの作動は高電圧を発生しますので、バラスト・H.I.D.バルブなどの改造や分解は絶対におこなわないでください。また、改造や分解、不当な修理に起因した故障および損傷については、製品保証の対象外となりますので、ご了承ください。

使用中におかしいな？ と思ったら!!

1) 速やかに車両を安全な場所へ移動し、停車させてください。

2) フォグスイッチを消灯状態にして、数秒後再度点灯をおこなってください。

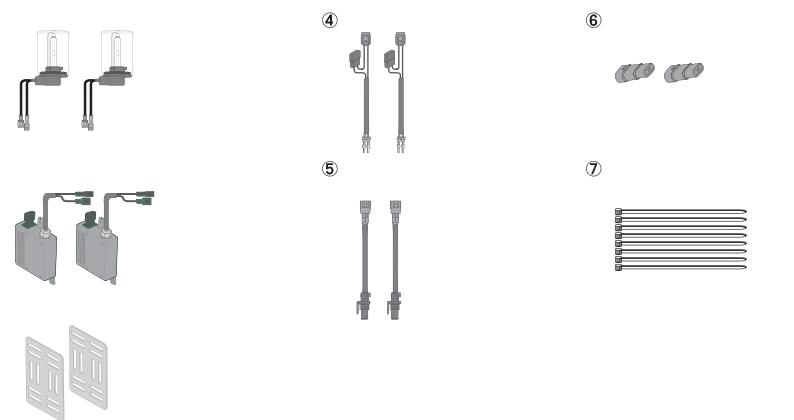
3) 上記作業を何度もおこなっても症状が改善されない場合は、再度10分から20分程度電源を切り(ハザードは除く)、その後再点灯をおこなってください。

*上記作業をおこなって正常にもどれば、バラストの安全回路が作動し発生した症状なので、そのままご使用されても問題はありません。

もし、症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄りの駐車設備のある場所へ車両を移動し、速やかに、購入・取付けをおこなった販売店へご相談ください。

△ 構成部品

*ご使用前に部品が揃っているか、必ずご確認ください。



HIDバルブ点灯/車両の制御タイプテスト要領

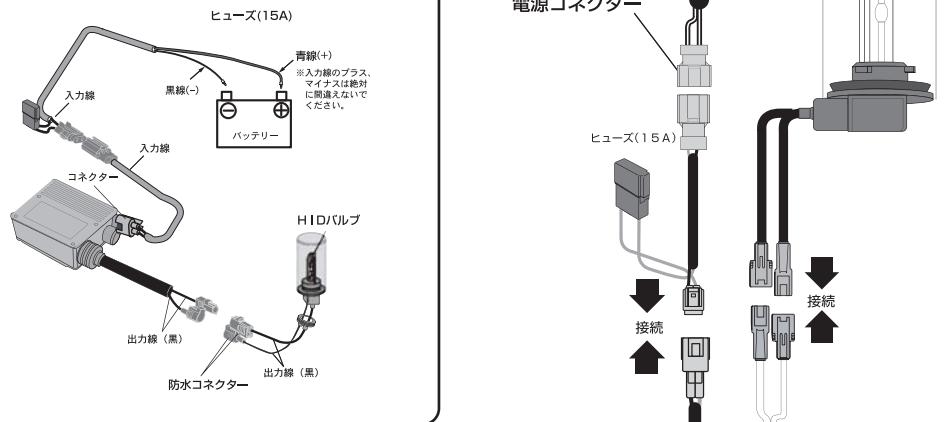
*HIDバルブ点灯/車両の制御タイプテストはバルブケース開封前に必ず実施してください。☆
当商品は出荷前に振動／点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で取付け作業を開始する前に、下記点灯/車両の制御タイプのテスト要領をご参照の上、必ず点灯/車両制御タイプの確認作業を行ってください。

HIDバルブ点灯テスト要領

*HIDバルブの点灯テストはケース開封前に必ず実施してください。☆
当商品は出荷前に振動／点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で取付け作業前に、下記点灯/車両の制御タイプのテスト要領をご参照の上、必ず点灯確認テストを行ってください。

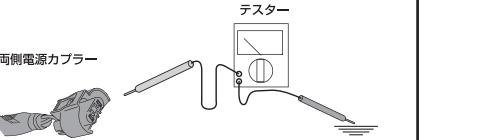
(点灯テスト手順)

- HIDバルブを開封する前に下図をご参照の上、HIDバルブ、バラスト、電源線をそれぞれ接続してください。
- 接続終了後、入力線の黒線をバッテリーのマイナス(-)側端子へ仮付けした後、入力線の青線をバッテリーのプラス(+)-側端子へ接続してください。
- HIDバルブが点灯すれば点灯確認テストは終了となります。



プラス(+)電源の確認

- 車両側電源カブラー(ハロゲンバルブに接続されていたカブラー)を取り外し、テスターなどの測定器具にて(+)プラス電源かどちらの配線に流れているか調べてください。



- 付属のカブラーを車両側電源カブラー接続時に(+)プラス電源が流れる方へ電源ハーネスの青色線コネクターを、隣のコネクター差込口へ黒線コネクターをセット("カチッ")というまで奥へしっかりとセットしてください。



ご注意

- 電源接続の際、プラス(+)マイナス(-)を絶対に間違わないでください。
- 点灯テストは、10秒以内で行ってください。
- 点灯前の点検テストは、リード線を封印した場合、及び装着作業中に発生した破損等はクレームの対象外となりますのでご了承ください。
- 破損や作動不良の原因となりますので、バラストケースにバッテリーのプラス電位が触れないよう注意ください。
- 点灯テストの際、バーナー先端をアース部(車両シャーシ、バッテリーマイナス)に近づけないでください。
- バーナー先端をアース部に接触した状態や、近づけた状態で点灯を行いますとバラストの故障の原因となります。

トラブルシューティング

○全く点灯しない

- フォグランプスイッチはONになっていますか？
YES → フォグランプスイッチをONにしてください。
NO → 各コネクターは確実に接続されていますか？
YES → ノ
NO → コネクターを確実に接続してください。
アースは確実に接続されていますか？
YES → アース端子を確実に接続してください。
NO → ヒューズは切れていませんか？
YES → 新品のヒューズと交換してください。
NO → フォグランプスイッチをOFFにしてください。

H.I.D.システムに異常が発生していますので取付を行った販売店(発売元)で点検をお受けください。

○片側が点灯しない

- 各コネクターは確実に接続されていますか？
YES → ノ
NO → コネクターを確実に接続してください。
アースは確実に接続されていますか？
YES → アース端子を確実に接続してください。
NO → パーツにトラブルが発生しています。(販売店にて点検を受けてください。)
YES → パーツにトラブルが発生しています。(販売店にて点検を受けてください。)

○車両側のH.I.D.システムに異常が発生していますので取付を行った販売店(発売元)で点検をお受けください。

(HID 取付手順)

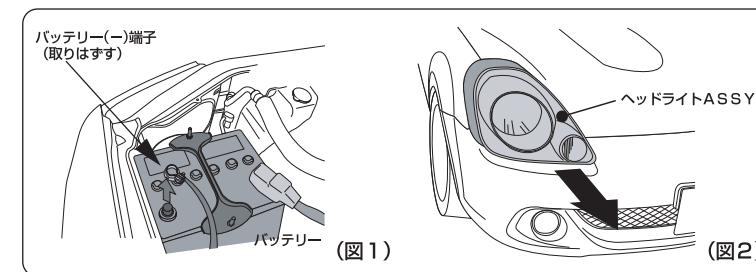
△ご注意

※下記取付け手順は、車両の左側にバッテリーや(+)電源ポイントが搭載されている車両の手順となります。
バッテリーや(+)電源ポイントが右側に搭載されている車両の場合は、上記手順と逆の手順にて作業を行ってください。
※車種により取付けの場所や方法が異なりますので固定方法は車種ごとにご検討ください。

1. 電源の遮断 (図1)

バッテリーのマイナス(-)端子を取り外すなどで車両に供給される電気を遮断してください。

ご注意
・バッテリーのマイナス(-)端子を取り外すとラジオや時計などのメモリーが消えてしまいます。
・バッテリー端子を取り外す前に記録を残し、作業終了後に必ず元の状態に復帰してください。



2. ヘッドライト脱着 (図2)

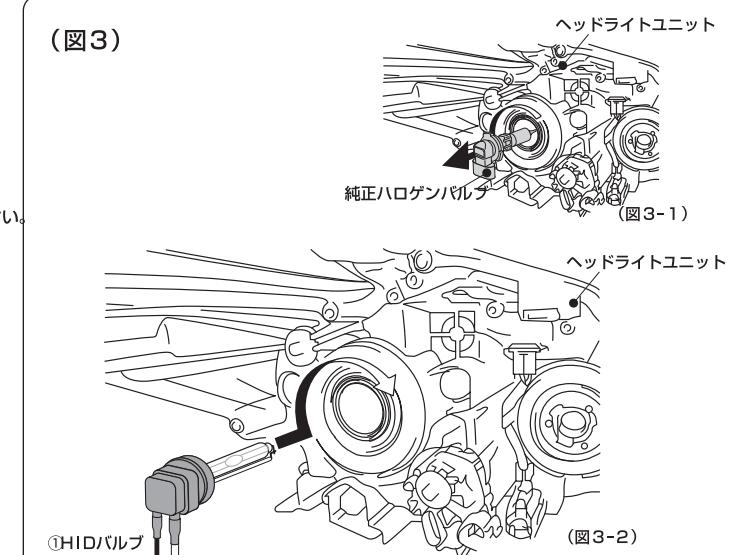
車両からヘッドライトASSYを取り外してください。

ご注意
※車種により脱着方法が異なります。脱着の手順などは、整備説明などをご参照ください。

3. HIDバルブの取付け (図3)

1) ヘッドライトから純正ハロゲンバルブを取り外し、HIDバルブをハロゲンバルブ脱着の手順で取付けてください。

1. ヘッドライトユニットより、純正ハロゲンバルブを取り外して下さい。(図3-1)
2. 付属の①HID.バルブをハロゲンバルブ脱着と逆の手順で取り付けてください。(図3-2)



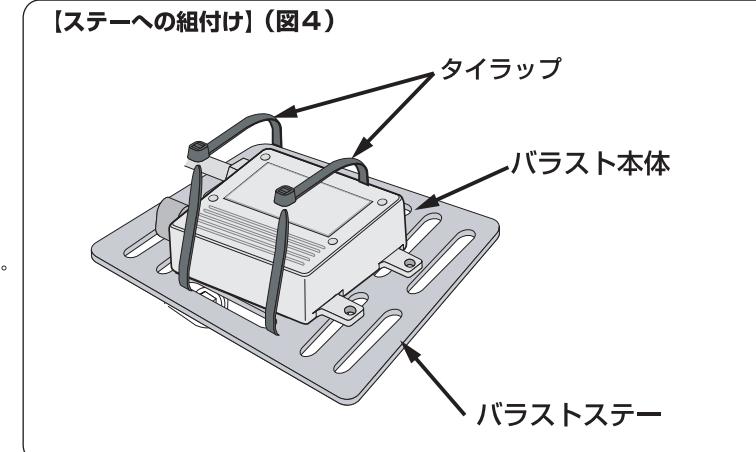
4. バラストの取付け (図4) (図5)

1) バラスト本体を付属の汎用ステーとタイラップまたはバラスト本体にある3ヶ所の固定ブラケットを使用し
ボルト、ナットなどでヘッドライト周辺の高温になりやすい場所や水などがかかりやすい場所を避けて車体へ
確実に固定してください。

※車種により取付の場所や方法が異なりますので固定方法は車種ごとにご検討ください。

※文中のボルト、ナットは製品には付属しておりませんので、別途ご用意ください。

【アドバイス】
バラスト本体は、HIDバルブの配線が届く範囲内に確実に固定してください。



5. 電源ハーネスの取付け

図を参照の上、エンジンルーム内へ配線の取付け作業を行ってください。

プラス(+)電源の確認

1. 車両側電源カブラー (ハロゲンバルブに接続されていたカブラー) を取外し、テスターなどの測定器具にて
(+)プラス電源がどちらの配線に流れているか調べてください。

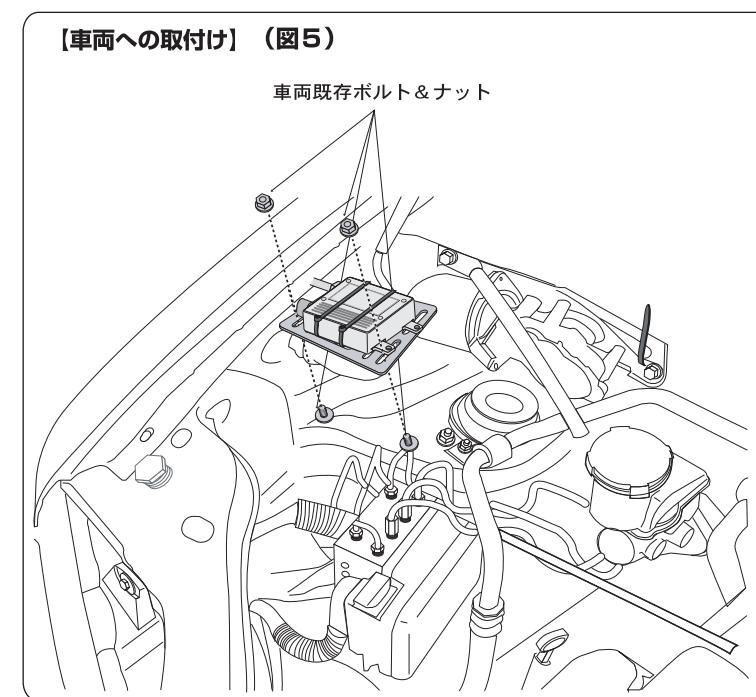
2. 付属のカブラーを車両側電源カブラー接続時に(+)プラス電源が流れる方へ電源ハーネスの青色線コネクター
を、隣のコネクター差込口へ黒線コネクターをセット("カチッ")というまで奥へしっかりセットしてください。

各電源線の接続

1. 右図をご参照の上、車両側電源からHIDシステムまでの配線を行ってください。

※各カブラーは、接続の際に"カチッ"と音がするまで確実に差し込んでください。

【アドバイス】
○バラストは電子回路を使用した精密部品の集合体です。
車両へ取付ける際は、激しい振動やガタつきなどがない様、確実に車体へ固定してください。
○バラストとの作動温度域は、-30°C~+85°C以内です。
極端に温度が上昇するような場所(ラジエーターやエンジンの近く)への取付けは、絶対におこなわないで
ください。
○バラストケースにバッテリーや他の電子機器のプラス電位が触れないようご注意ください。



6. 車両の復帰

HID取り付け手順1~5の作業で、車両から取外した部品を元の状態へ復帰させてください。

ご注意

最後に必ず点灯テストと光軸の確認および調整をおこなってください。
この時点で作動に不具合(点灯しないなど)が発生した場合は、前項のトラブルシューティングを
ご参照の上、各部の点検をおこなってください。

